

4 . 市営住宅入居者アンケート調査

4 - 1 . 調査の実施概要

1) 市営住宅入居者アンケート調査の実施方法

市営住宅に入居している全世帯を対象に、アンケート調査票を郵送で配布・回収

実施期間：平成 22 年 2 月 22 日(月)～ 3 月 8 日(月)

2) アンケート調査票の配布・回収状況

アンケート調査票の団地別の配布・回収状況は、次のとおりです。

表 入居者アンケートの配布・回収状況

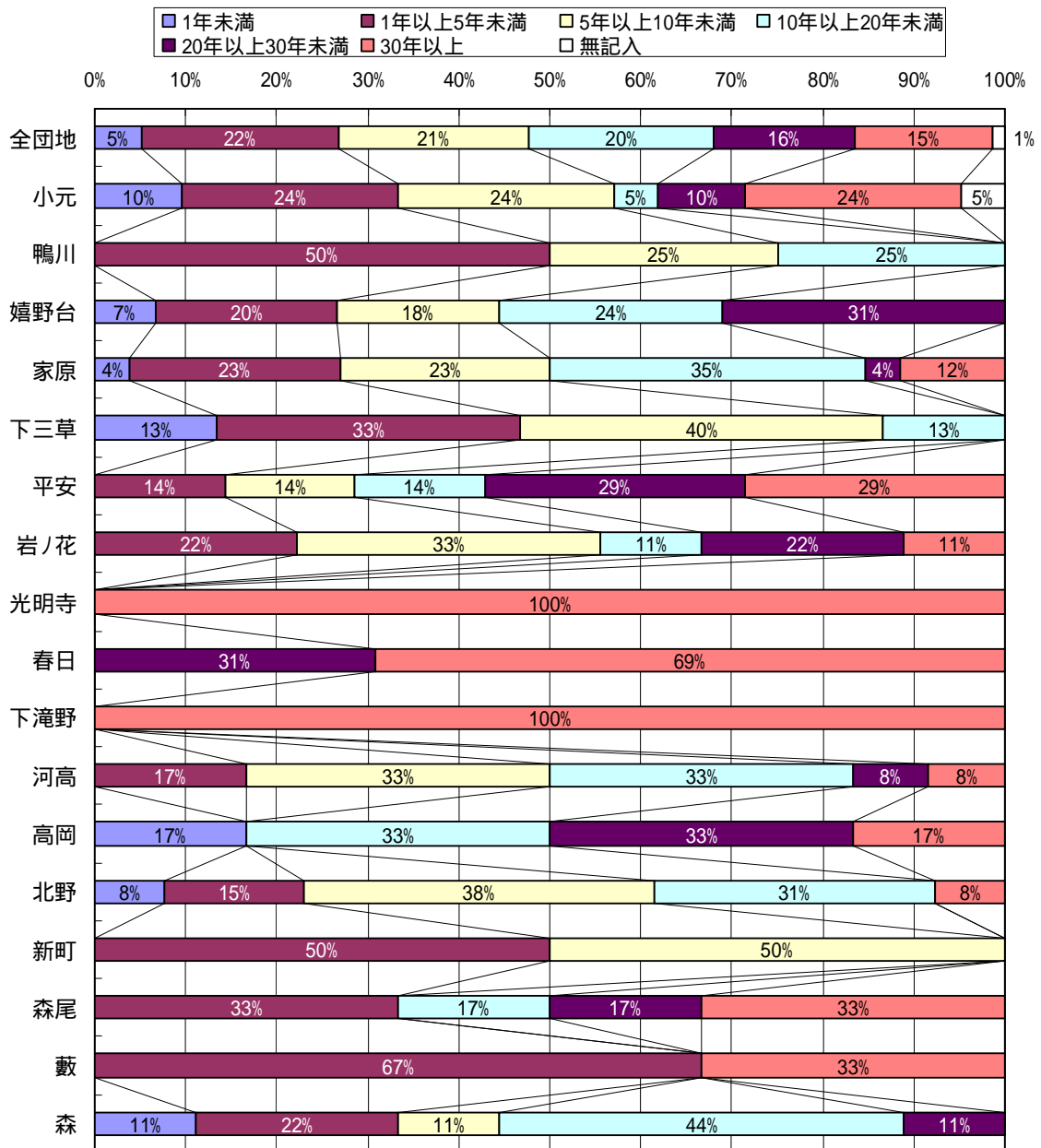
	団地名	配布数	回収数	回収率
1	小元	47	21	45%
2	鴨川	8	4	50%
3	嬉野台	82	45	55%
4	家原	62	26	42%
5	下三草	25	15	60%
6	平安	20	7	35%
7	岩の花	16	9	56%
8	光明寺	2	2	100%
9	春日	20	13	65%
10	下滝野	3	1	33%
11	河高	22	12	55%
12	高岡	10	6	60%
13	北野	18	13	72%
14	新町	6	4	67%
15	森尾	8	6	75%
16	藪	10	3	30%
17	森	16	9	56%
18	不明		16	
	合計	375	212	57%

4-2. アンケートの分析結果

1) 入居者の属性

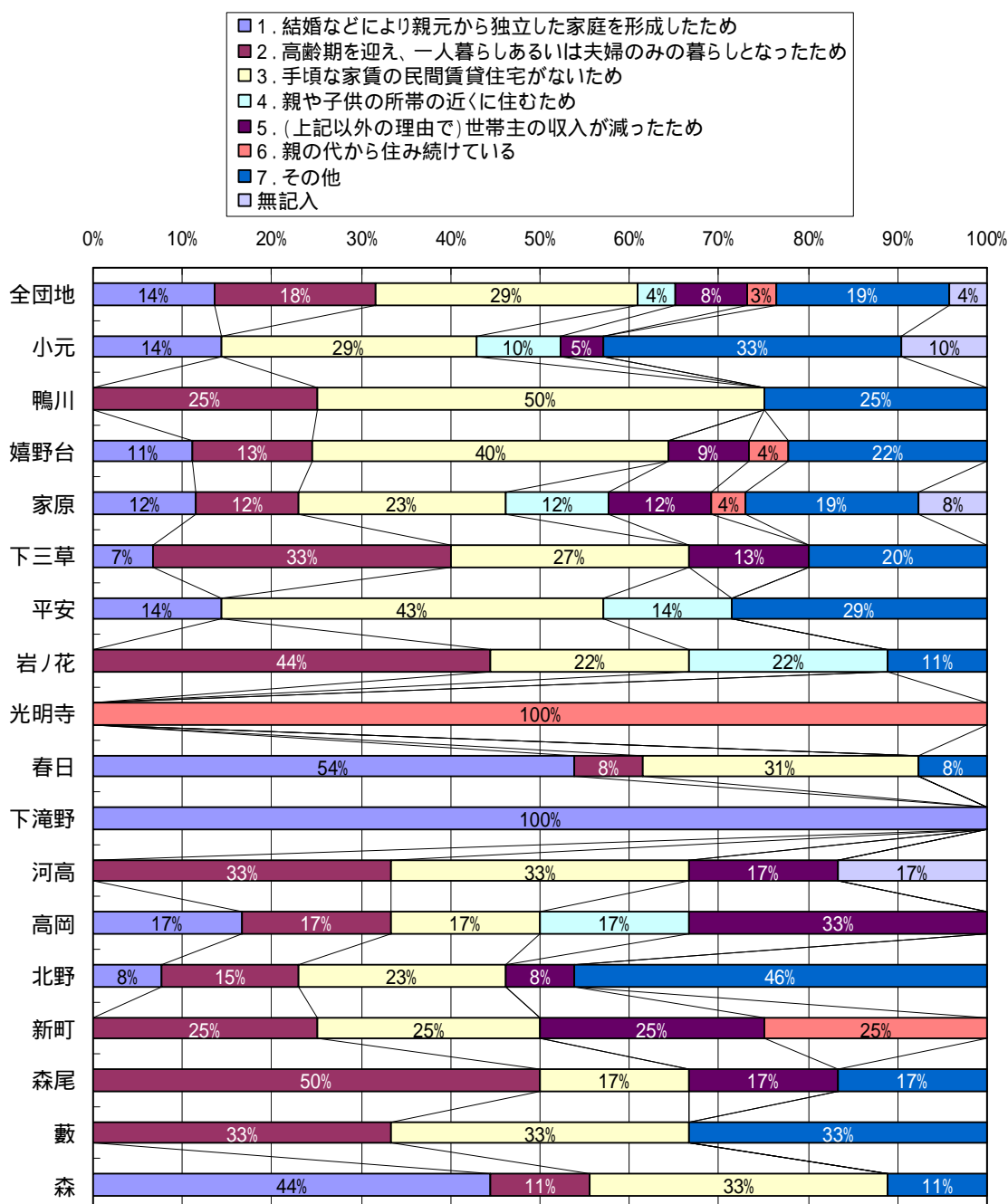
居住年数 (1つ回答)

- ・「全団地」の入居年数は、「1年以上5年未満」が22%と最も多く、「5年以上10年未満」21%、「10年以上20年未満」20%、「20年以上30年未満」16%、「30年以上」15%。最も少ないのは、「1年未満」の5%。
- ・「団地別」では、「光明寺」「下滝野」の全世帯が居住年数30年以上で、「高岡」「下三草」では、ここ1年以内に入居した世帯が多い。



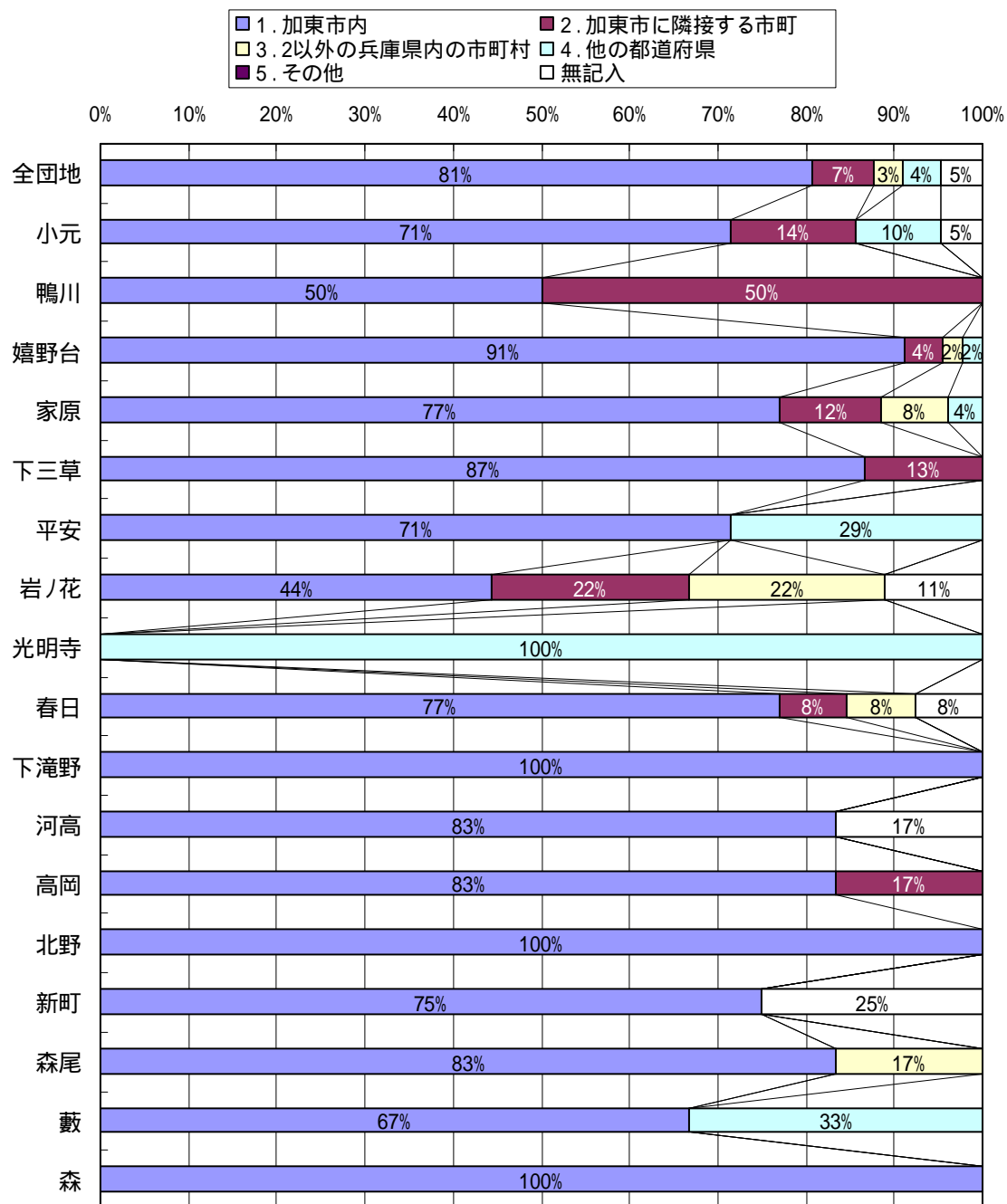
住み始めた理由（1つ回答）

- ・「全団地」の入居理由は、「手頃な家賃の民間賃貸住宅がないため」が29%と最も多く、次いで「その他」19%、「高齢期を迎え、1人暮らしあるいは夫婦のみの暮らしとなったため」18%、「結婚などにより親元から独立した家庭を形成したため」14%、「世帯主の収入が減ったため」8%、「親や子供の所帯の近くに住民のため」「無記入」各4%、「親の代から住み続けている」3%。
- ・「団地別」では、「光明寺」は「親の代から住み続けている」100%、「下滝野」は「結婚などにより親元から独立した家庭を形成したため」100%と、片寄った団地もある。



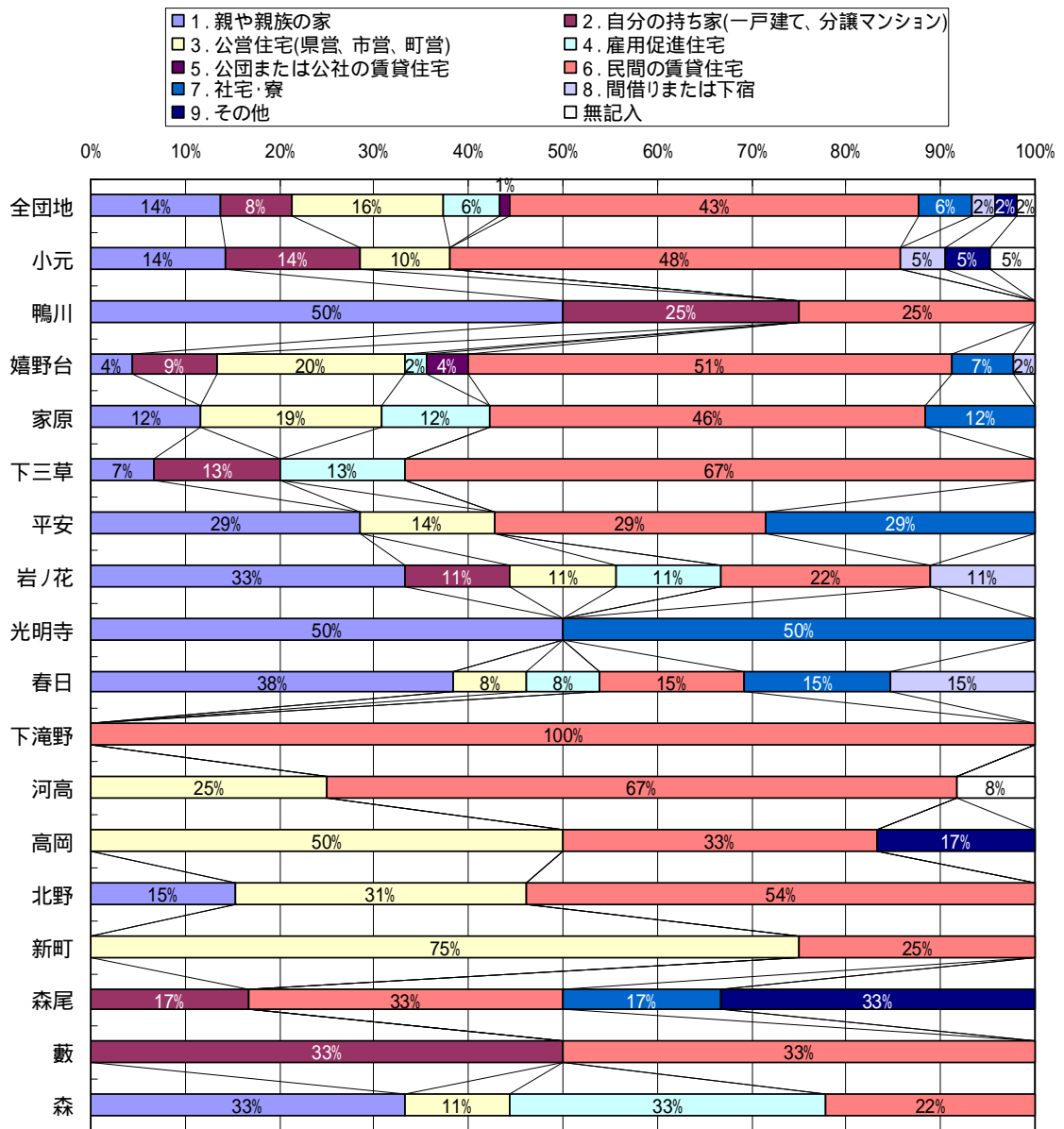
市営住宅入居前の住所（1つ回答）

- ・「全団地」の入居前住所は、8割以上が「加東市内」、次いで「加東市に隣接する市町」が7%、「その他」7%、「無記入」5%、「他の都道府県」4%。
- ・「団地別」では、「光明寺」が「他の都道府県」100%で、「下滝野」「北野」は「加東市内」が各100%。



市営住宅入居前の住宅（1つ回答）

- ・「全団地」の入居前の住宅は、「民間の賃貸住宅」が43%と最も多く、次いで「公営住宅(県営、市営、町営)」16%、「親や家族の家」14%、「公団または公社の賃貸住宅」8%、「雇用促進住宅」「社宅・寮」各6%、「間借りまたは下宿」「その他」各2%。
- ・「団地別」では、「下滝野」が「民間の賃貸住宅」が100%で、「新町」は「公営住宅(県営、市営、町営)」が75%。

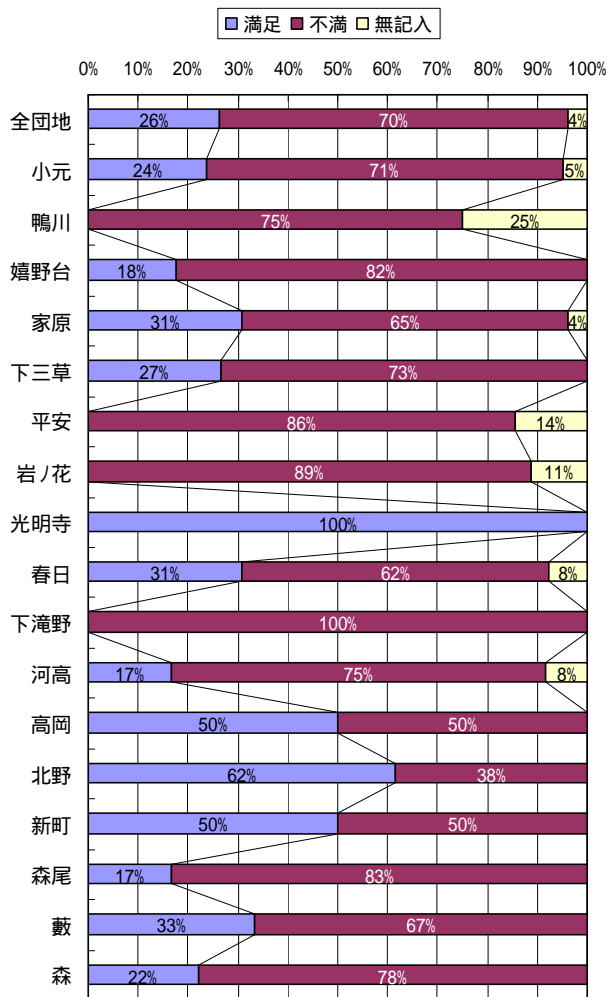


2) 市営住宅に関する評価

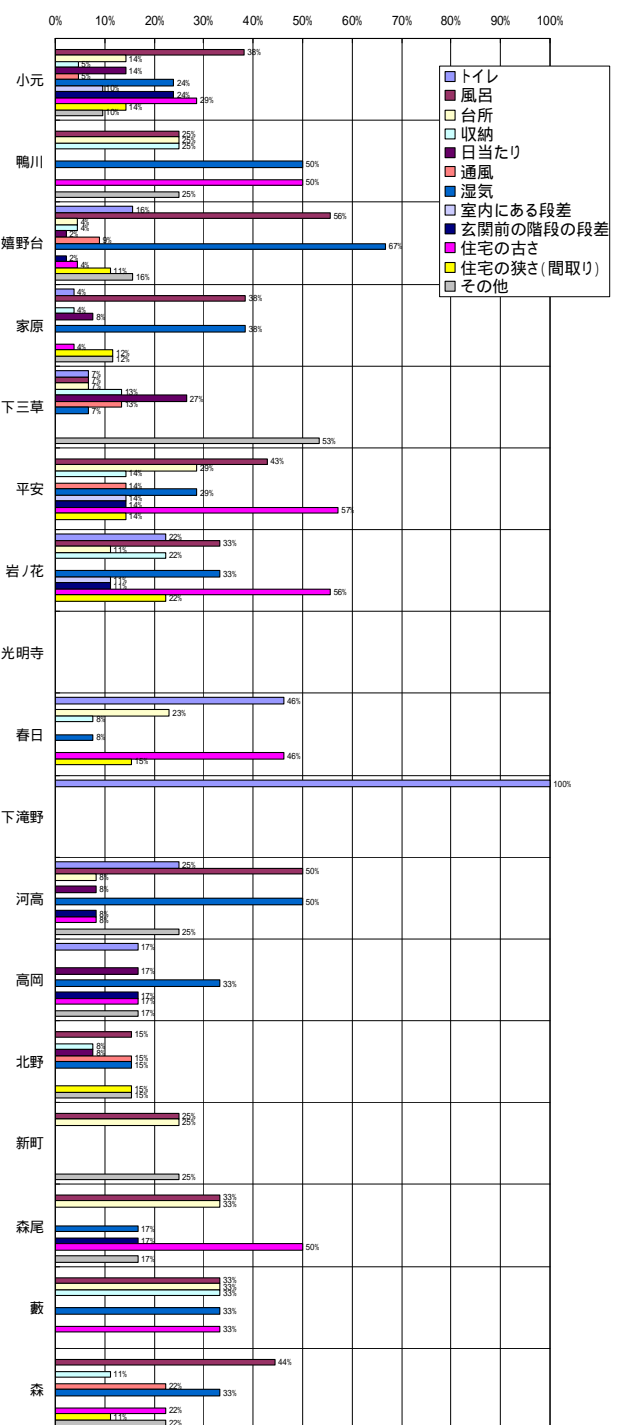
住宅の不満点(1つ回答)

- ・「全団地」の住宅の不満点は、「不満」70%、「満足」26%という結果になった。不満点の内訳で最も高いのが「湿気」34%、「風呂」33%。
- ・「団地別」では、「光明寺」は不満点がなく、「下滝野」は不満が100%で、ほとんどの団地で不満意見が多く、各団地様々な不満点が上がっている。

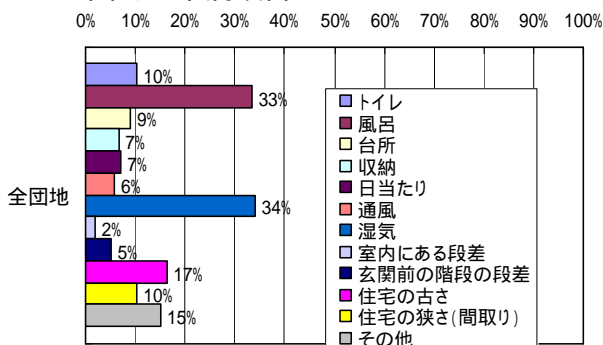
・全団地・各団地の賛否



・各団地の不満項目

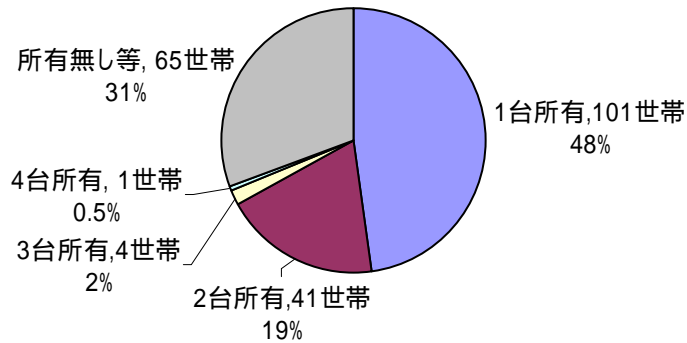


・全団地の不満項目



自家用車・バイク・自転車所有台数（1つ回答）

・「全団地」の自家用車所有台数は、「1台所有」が101世帯48%と最も多く、続いて「所有無し等」が65世帯31%で、「2台所有」19%、「3台所有」2%、「4台所有」0.5%。7割近くの世帯が、自家用車を所持している。

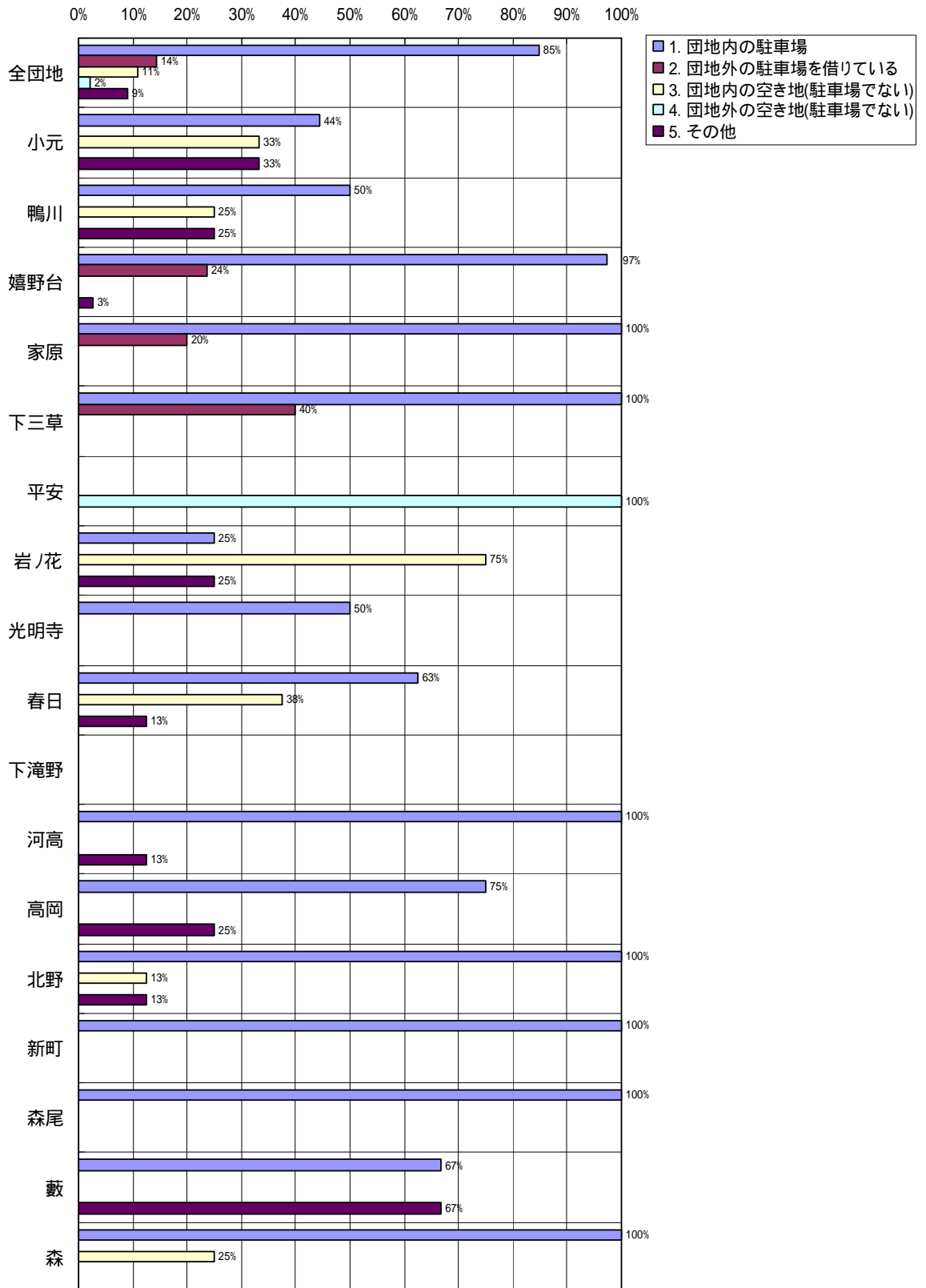


・「団地別」では、「鴨川」「下三草」「藪」が、自家用車所有率各100%です。

No.	団地名	回収数	自家用車					自家用車 総台数	バイク		自転車		
			所有世帯	所有率	1台	2台	3台		4台	所有世帯	総台数	所有世帯	総台数
1	小元	21	10	48%	7	3	0	0	13	2	2	13	19
2	鴨川	4	4	100%	2	2	0	0	6	1	1	1	2
3	嬉野台	45	38	84%	28	9	1	0	49	9	9	24	40
4	家原	26	20	77%	14	5	0	1	28	4	4	17	31
5	下三草	15	15	100%	9	6	0	0	21	1	1	4	8
6	平安	7	2	29%	1	0	1	0	4	1	1	4	7
7	岩の花	9	5	56%	3	1	1	0	8	2	3	4	5
8	光明寺	2	1	50%	1	0	0	0	1	0	0	1	1
9	春日	13	8	62%	6	2	0	0	10	1	1	8	8
10	下滝野	1	0	0%	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11	河高	12	8	67%	7	1	0	0	9	1	1	7	11
12	高岡	6	4	67%	2	1	1	0	7	0	0	2	2
13	北野	13	8	62%	6	2	0	0	10	3	3	9	16
14	新町	4	1	25%	1	0	0	0	1	0	0	2	2
15	森尾	6	1	17%	1	0	0	0	1	1	1	1	1
16	藪	3	3	100%	2	1	0	0	4	0	0	0	0
17	森	9	8	89%	3	5	0	0	13	1	1	8	19
18	不明	16	11	69%	8	3	0	0	14	2	2	8	10
総合計		212	147	69%	101	41	4	1	199	29	30	114	183
				(内訳構成比)	48%	19%	2%	0.5%					

自家用車の駐車場所（複数回答）

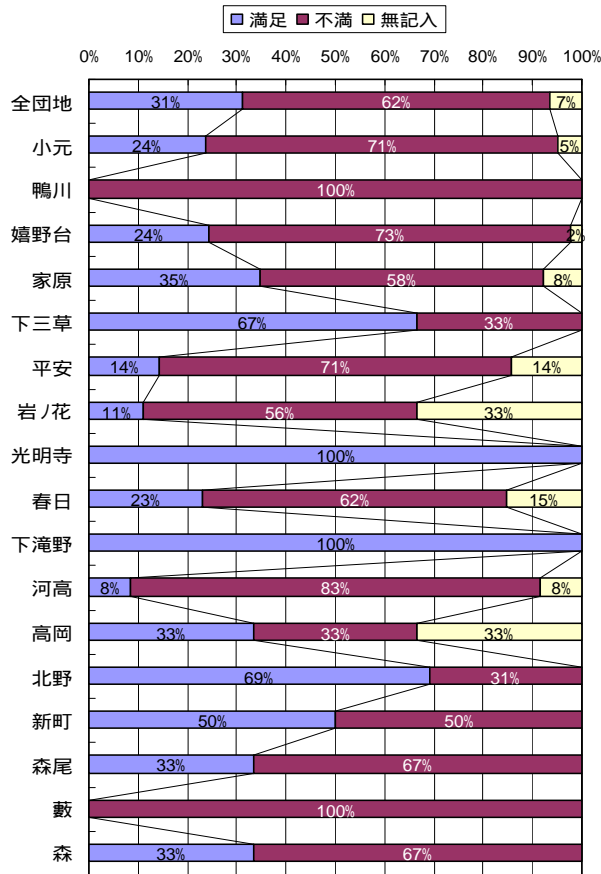
- ・「全団地」の自家用車の駐車場所は、8割以上が「団地内の駐車場」。
- ・「団地別」では、「平安」が「団地外の空き地(駐車場でない)」が100%。



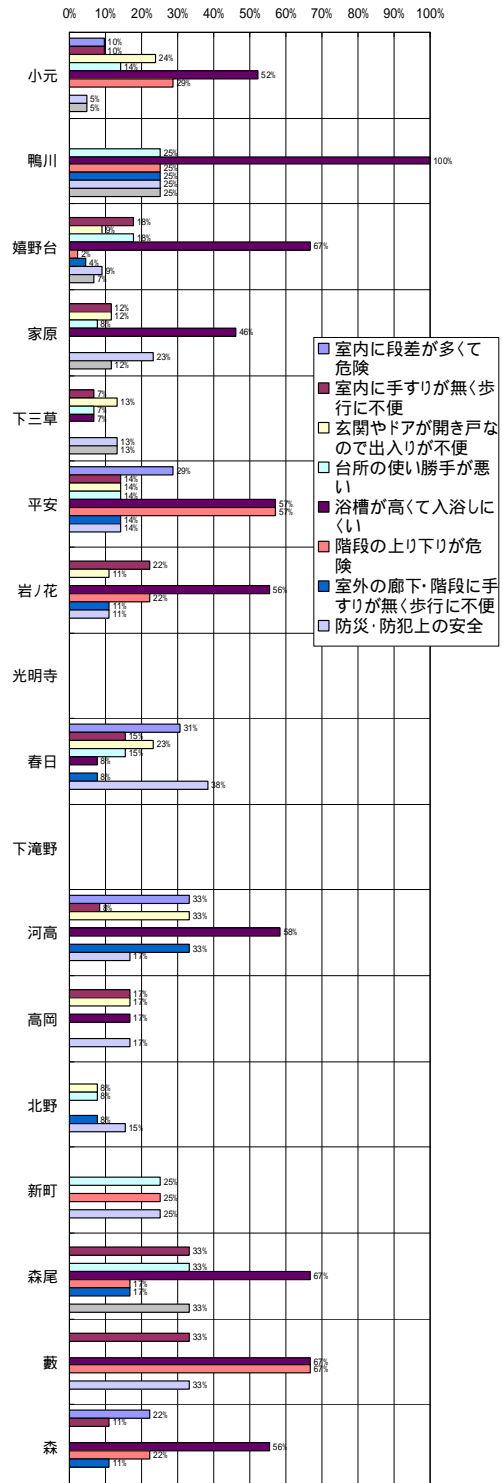
高齢者世帯の住宅の不満点（1つ回答）

- ・「全団地」の住宅の不満点は、「不満」62%、「満足」31%という結果になった。不満点の内訳で最も高いのが「浴槽が高くて入浴しにくい」の42%。
- ・「団地別」では、「下滝野」は不満点がなく、「鴨川」と「藪」は不満が各100%。どの団地も「浴槽が高くて入浴しにくい」が不満点として高い。

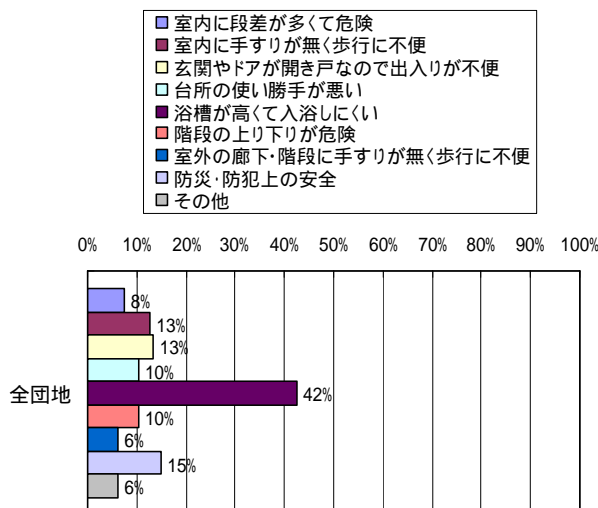
・全団地・各団地の満足割合



・各団地の不満項目



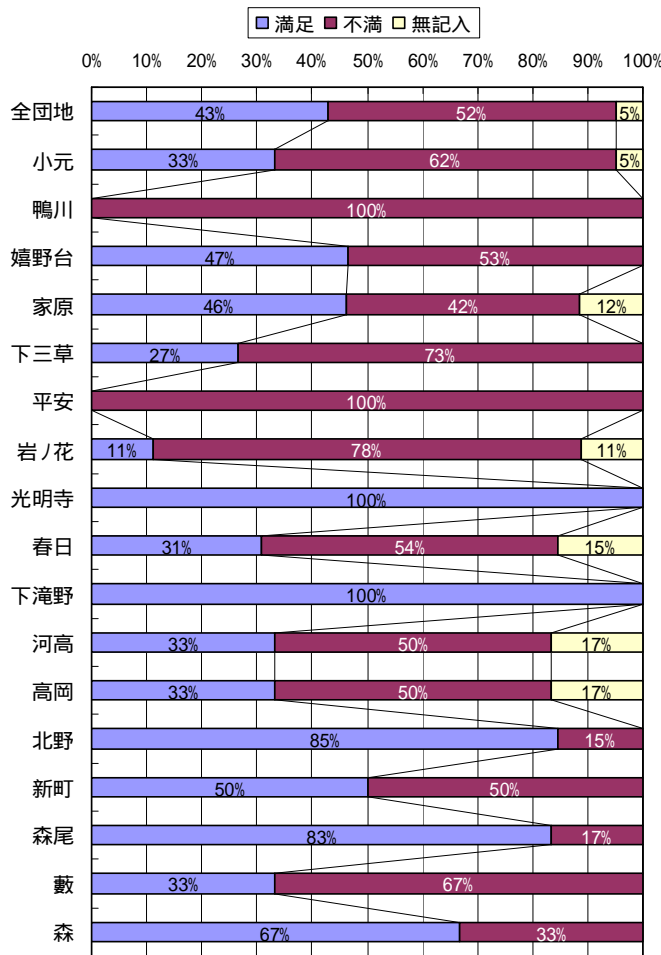
全団地の不満項目



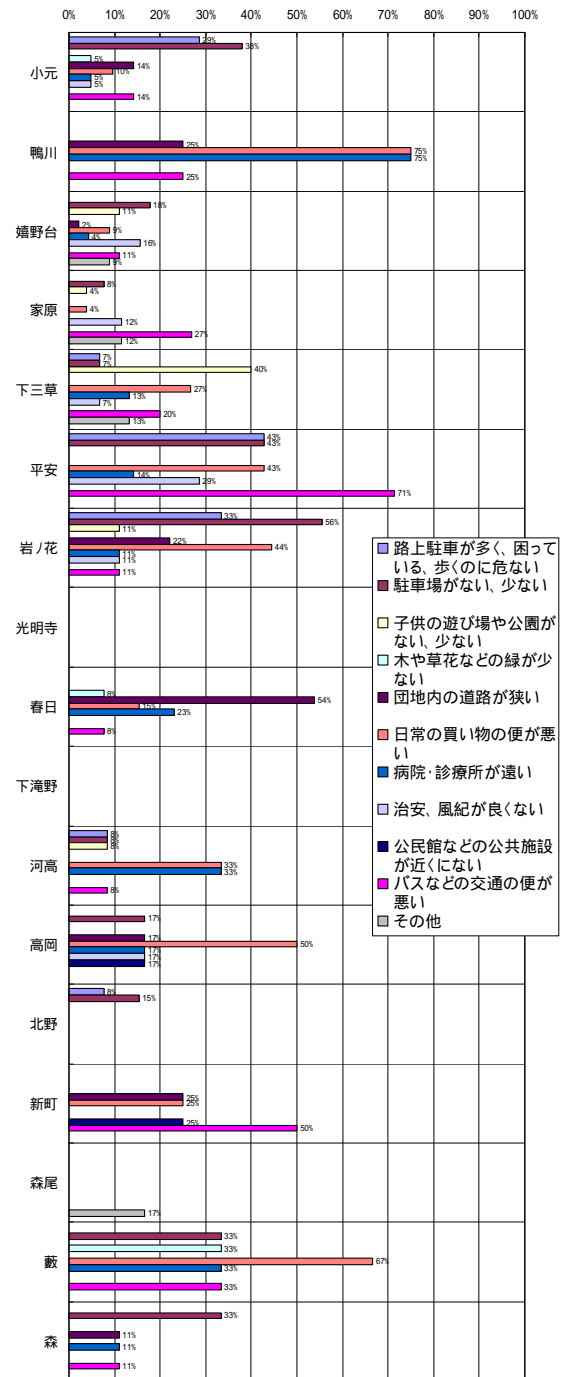
住宅周辺の不満点（1つ回答）

- ・「全団地」の住宅周辺の不満点は、「不満」52%、「満足」43%という結果になった。
不満点の内訳で比較的多いのが、「駐車場がない、少ない」「日常の買い物の便が悪い」「バスなどの交通の便が悪い」であった。
- ・「団地別」では、「光明寺」「下滝野」は不満点がなく、「鴨川」「平安」は不満が各100%。団地ごとに様々な不満点が伺える。

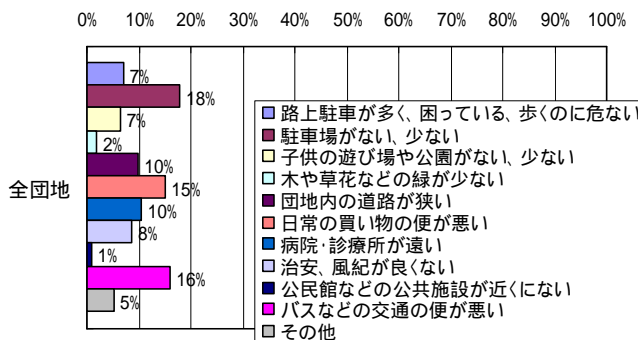
・全団地・各団地の満足割合



・各団地の不満項目

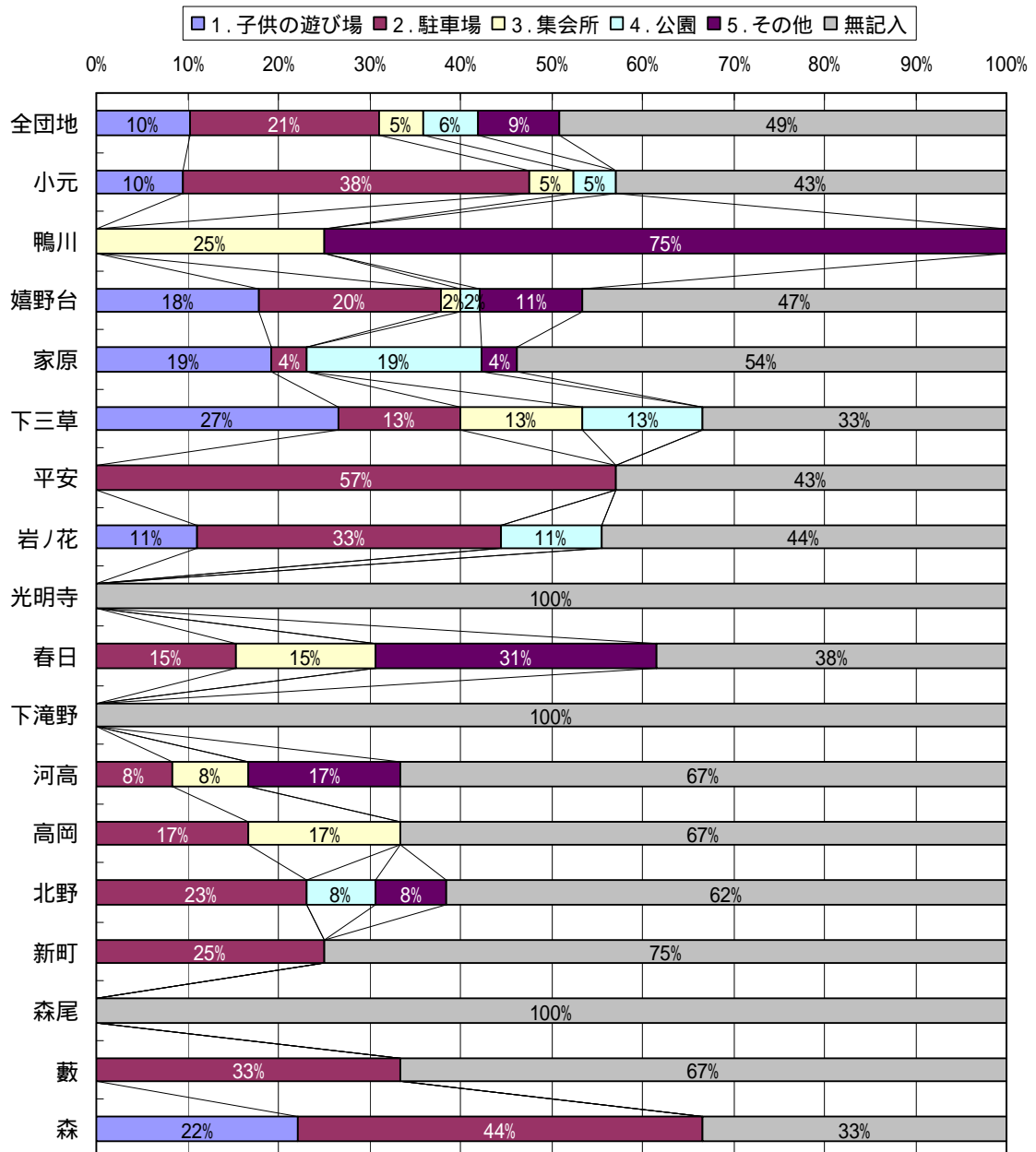


・全団地の不満項目



住宅の整備してほしい施設（1つ回答）

- ・「全団地」の整備してほしい施設では、「駐車場」が21%と最も多く、次いで「子供の遊び場」10%、「その他」9%、「公園」6%、「集会所」5%。また、この設問では半数近くが無記入であった。
- ・「団地別」では、どの団地も「無記入」が多い状態。整備してほしい施設に関して、あまり関心がないのだろうか。

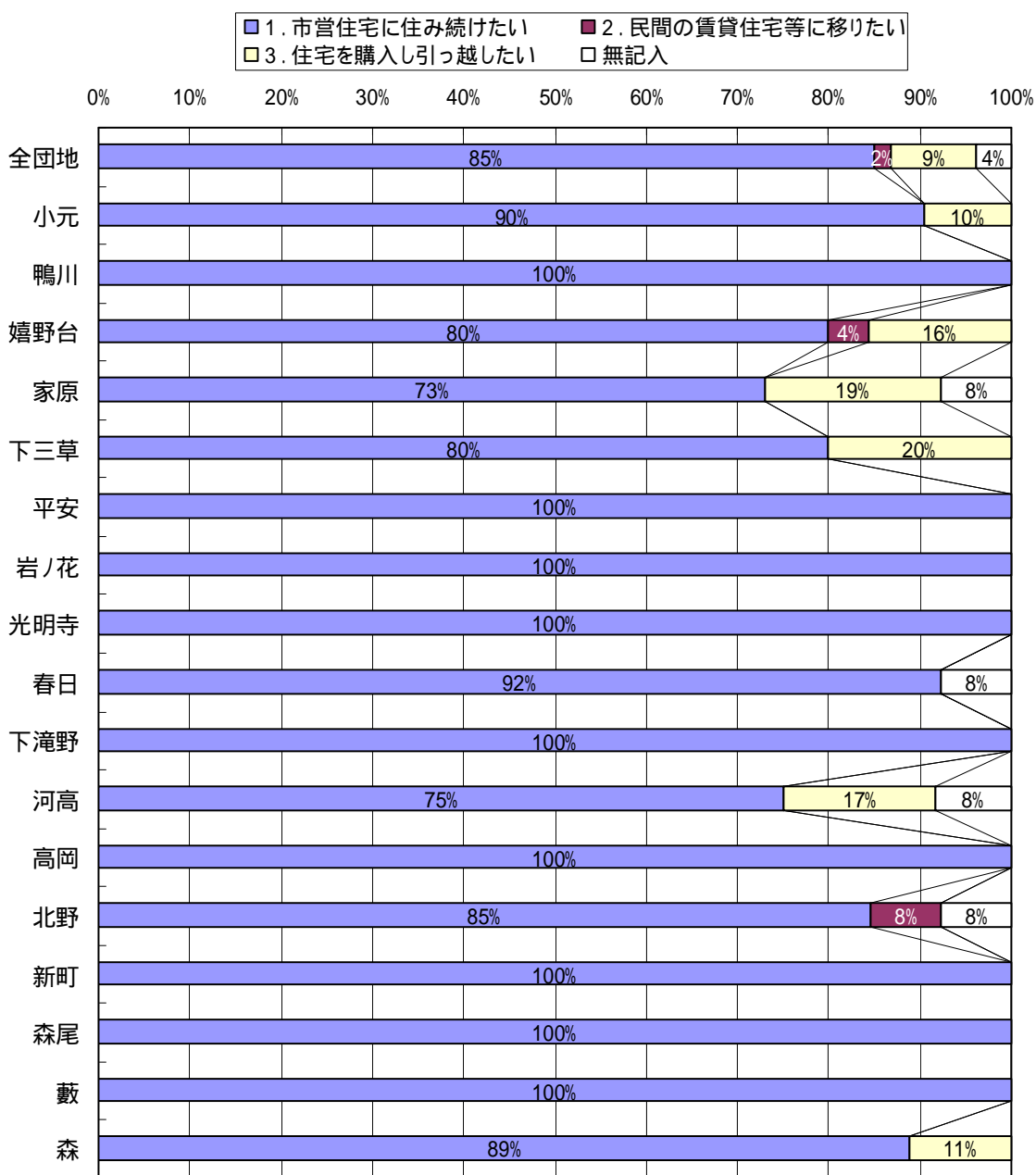


3) 居住継続意向

市営住宅に住み続けたいですか（1つ回答）

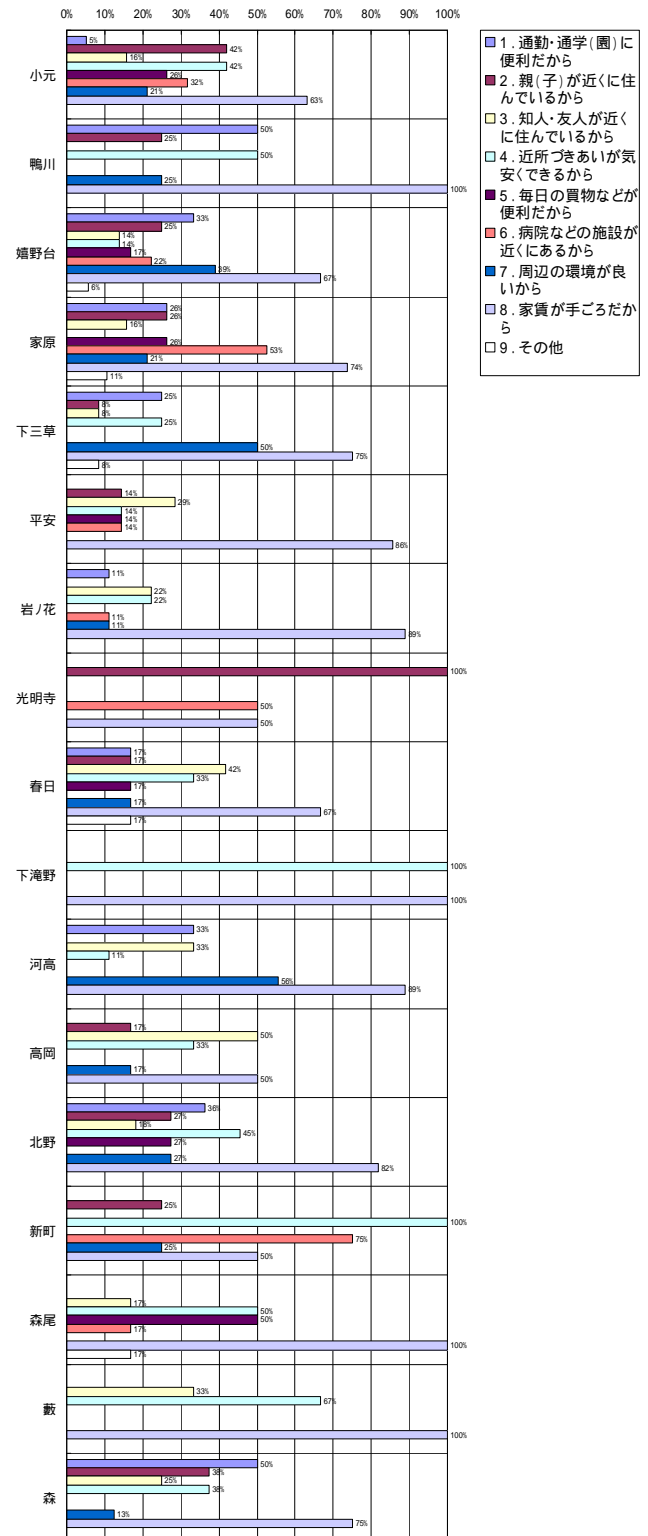
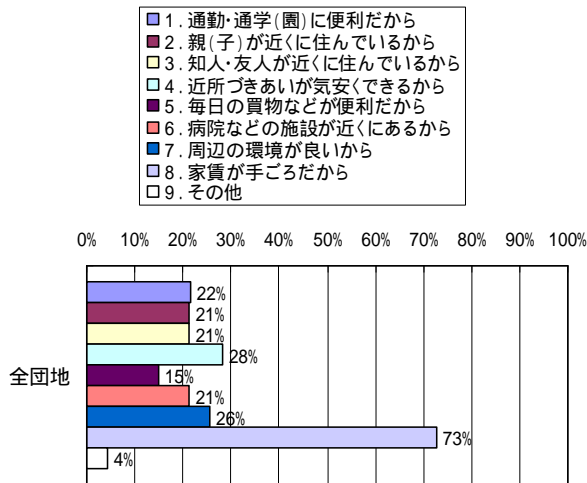
・「全団地」の市営住宅に住み続ける事に関しては、「市営住宅に住み続けたい」が8割以上と大半を占め、「住宅を購入し引越したい」9%、「民間の賃貸住宅等に移りたい」が2%。マイホーム購入や民間借家等に引越しを考えている世帯は、11%に止まっている。

・「団地別」では、「市営住宅に住み続けたい」が大部分を占めた。



住み続けたい理由（3つまで回答）

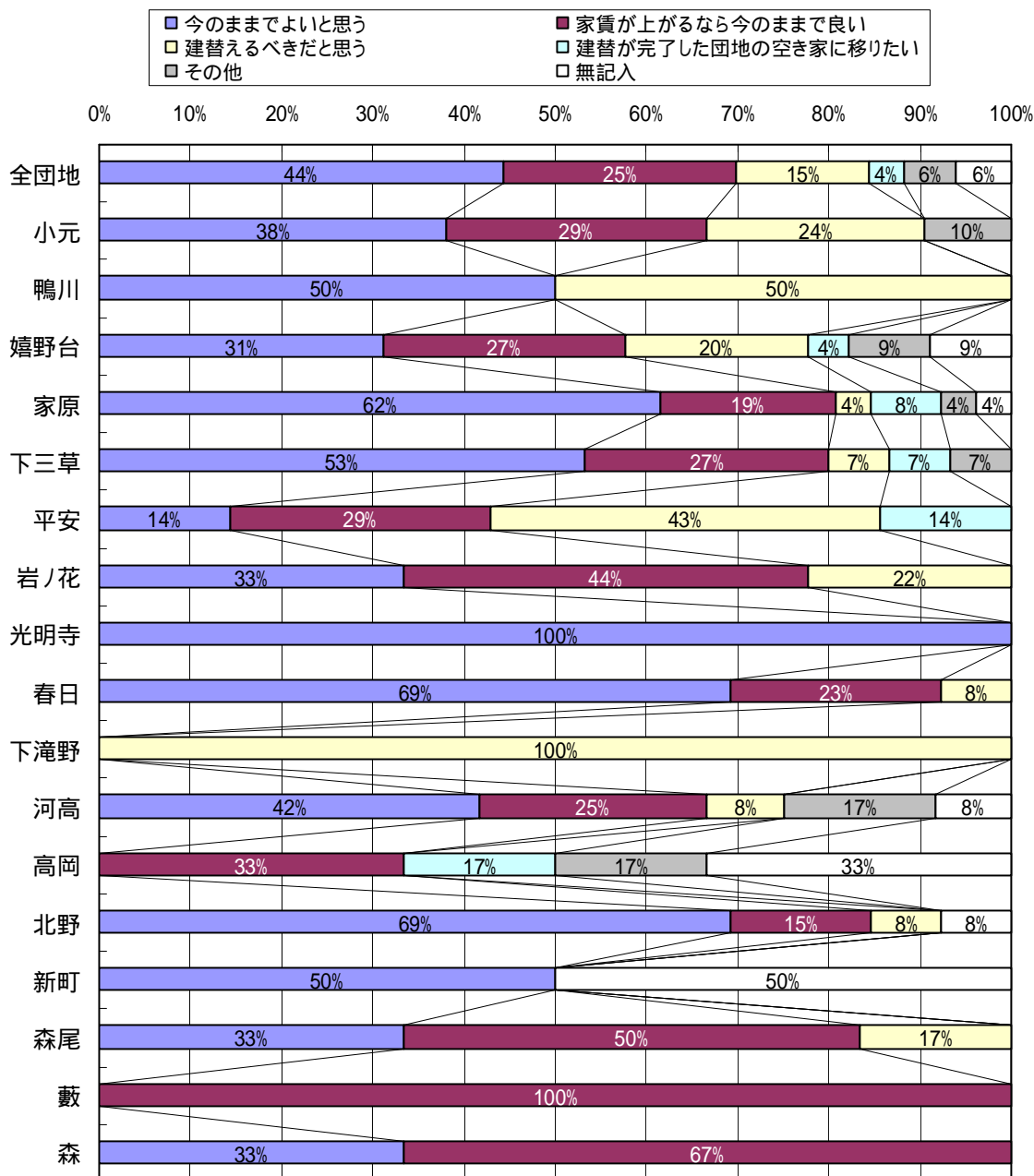
- ・「全団地」の住み続けたい理由は、「家賃が手ごろだから」が7割以上と大半を占めている。
- ・「団地別」では、「家賃が手ごろだから」が各団地の大半を占めていますが、「光明寺」は「親（子）が近くに住んでいるから」が100%。



4) 市営住宅の建替えへの意向

住宅の建替えについて(1つ回答)

- ・「全団地」の建替えについては、「今のままでよいと思う」が44%と多く、次に多いのが「家賃が上がるなら今のままで良い」25%。建替え希望や転居を考えてる世帯は、約3割。
- ・「団地別」では、「今のままでよいと思う」が多数ですが、「下滝野」は「建替えるべきだと思う」が100%。



建替えの際、住宅をどうしていくべきか（複数回答）

- ・「全団地」の建替えの際住宅をどうしていくべきについては、「段差の解消や手すりを設置した高齢化に対応した住宅」が48%と大半を占め、次いで「若い人からお年寄りまで、様々な世帯が入居できる住宅」41%、「1DK、2DK、3DKなど様々な住戸が選べる住宅」35%、「まわりのまち並みにあった住宅」12%、「その他」7%。
- ・「団地別」では、どの団地も「段差の解消や手すりを設置した高齢化に対応した住宅」が多い傾向にある。

